

東京 2025 世界陸上・東京 2025 デフリンピックへの対応について

1 世界陸上・デフリンピックの基本情報

世界陸上競技選手権大会	デフリンピック
●ワールドアスレティックス（WA）が主催。 2年毎に開催 ●第1回は、1983年にフィンランドのヘルシンキで開催 ●2025年の大会は、20回目の大会 ●世界で約10億人が視聴 3,000名規模のボランティアが参加 ●東京での開催は1991年大会以来。 日本での開催は2007年大阪大会を含めて通算3回目	●国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が主催し、 4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした 国際総合スポーツ競技大会 ●第1回は、1924年にフランスのパリで開催 ●2025年の大会は、100周年の記念すべき大会。 日本では初めての開催 ●手話言語のほか、スタートランプや旗などを使った視覚による情報保障が特徴

2 東京2025世界陸上・東京2025デフリンピックの概要

	東京2025世界陸上	東京2025デフリンピック
会 期	令和7年9月13日（土）～9月21日（日）	令和7年11月15日（土）～26日（水）
種 目	49種目	21競技（陸上や水泳など）
選 手	約210か国・地域、約2000人	70～80か国・地域、約3000人
会 場	東京・国立競技場（マラソン、競歩は東京都内での実施を予定）	主に都内会場（サッカーは福島県、自転車は静岡県で実施）
招 致	（公財）日本陸上競技連盟	（一財）全日本ろうあ連盟
運 営	（一財）東京2025世界陸上財団	（一財）全日本ろうあ連盟 （公財）東京都スポーツ文化事業団
		

3 本県の対応について（検討・実施状況）

「世界陸上・デフリンピック」を通じた被災地連携として、東京都と調整を進めながら事業の協力を行う。

世界陸上	① 世界陸上1年前イベントにおけるリーフレットの配架 【実施済み】文化振興課の「世界遺産ガイドランスセンター」を提供 ② 世界陸上放送事業者説明会におけるリーフレットの配架 【実施済み】文化振興課の「世界遺産ガイドランスセンター」及び商工労働観光部の「Iwate Tourist Guidebook」を提供 ③ 子供の競技観戦 東北3県の子供たちに観戦機会を提供するもの。100名程度（内訳：30名程度（1クラス程度）×3県（岩手県・宮城県・福島県）の子供、引率者が対象。国立競技場が会場となる。 【検討状況】「いわてスーパーキッズU12」で調整中。観戦招待に係る交通費、宿泊費、観戦チケット代等は東京都が負担する。 ④ 東北3県魅力発信ブース 大会期間中に、明治公園において「盛り上げイベント」を実施予定。その中で被災地PRブースを設置し、復興パネル展等を想定。 【検討状況】世界遺産パネル展示やチラシ・ノベルティ配布を想定。その他、東京都と調整を行う。
デフリンピック	① 子供の競技観戦 東北3県の子供たちに観戦機会を提供するもの。100名程度（内訳：30名程度（1クラス程度）×3県（岩手県・宮城県・福島県）の子供、引率者が対象。都内会場が対象となる。 【検討状況】「盛岡聴覚支援学校」の児童で調整中。観戦招待に係る交通費、宿泊費、観戦チケット代等は東京都が負担する。 ② 東北3県魅力発信ブース 大会期間中に、デフスクエア（実施運営本部や、選手の宿泊場所等の選手団サービス拠点となるエリア）において、世界陸上と同様に被災地PRブースを設置予定。 【検討状況】世界遺産パネル展示やチラシ・ノベルティ配布を想定。その他、東京都と調整を行う。



東北3県魅力発信ブース エリアイメージ